

サテライト校舎で地域貢献機能を強化する

緑に囲まれたサテライトキャンパス

筑波大学 東京キャンパス文京校舎



長い歴史を持つ都心のサテライトキャンパス。放送大学と連携した生涯学習の拠点は、きめ細かく地域のニーズに応え、周辺環境との調和にも配慮。

筑波大学の東京キャンパス文京校舎は、同大学の母体校である東京教育大学の本部が置かれていた敷地に改築整備された。旧校舎には、筑波研究学園都市のキャンパス整備が概成した後も、都内を中心とした多数の附属学校の統括機能や支援機能が存続し、また、社会人大学院（夜間）が新設され、ニーズに応えるかたちで拡充されてきた。さらに、平成14年には研究成果の社

会への還元を図るため東京リエゾンオフィスが新設され、産学連携活動や関係省庁の研究資金に関する情報収集などを進めてきた。

丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩3分という交通至便の場所であるため、沿線のビジネス街、官庁街、学生街から利用しやすく、また、徒歩圏内にはお茶の水女子大学を始め、多数の大学・高校があり、さらに、史跡・小石川植物園もほど近い、いわゆる文教地区・文化エリアの中という絶好の立地にある。

しかしながら、建物の老朽化は著しく進行し、狭あいのため社会人大学院は秋葉原に賃貸ビルを借りて授業を行うという状況であった。改善が望まれていたが、放送大学学習センターとの合築の企画が持ち上がった際に、立地にふさわしい資産活用を検討し、また、幾つもの課題の解決に積極的に取り組み、整備された。

■合築の効果を高める工夫

新校舎は面積が増え、狭あいのため分散していた筑波大学東京キャンパスの機能を集約することができた。さらに、放送大学と合築したため、共用部分を設け、それを共同で運営することによる利便性向上及び相乗効果が得られている。例えば図書館は一体につくり、双方の学生が利用できるようにしており、また、夜間が中心の社会人大学院と昼間が中心の放送大学学習センターが講義室を相互に融通することによる利用率の向上、ホール・ラウンジの快適性向上などが図られた。

シンポジウムや一般高校生を対象にした進学説明会などの催物の際にも、こうした施設面のメリットが発揮されている。

凡例	
	: 筑波大学専有部分
	: 放送大学専有部分
	: 持分を設定する専有部分
	: 共用部分

階	専有部分	共用部分	専有部分	共用部分	専有部分	共用部分
屋上階						
6階	屋上緑化	教員研究室		教員研究室 ラウンジ		ホール
5階		講義室	教員研究室		教員研究室 ラウンジ	ホール
4階			教員研究室		教員研究室 ラウンジ	ホール
3階		講義室	教員研究室		事務室 ラウンジ	ホール
2階		講義室	中庭		事務室 ラウンジ	ホール
1階		理療科		大講義室		ホール ラウンジ
地下1階		図書館	ライトコート		大講義室	ホール

■周辺地域との調和

キャンパス内にある長年育てた豊かな木々を残し、階数も地上6階に抑えることで周辺地域への圧迫感を減らし、また、隣接する文京区立公園との調和を図っている。建物外観は、旧建物の面影を残すれんが色のタイルと垂直線を強調したデザインにより伝統と格調を感じさせ、学生や訪問者にアカデミックな雰囲気をもたらしている。

防災面でも地域に貢献するためマンホールトイレ、雨水の貯留槽を設けている。

■環境負荷の低減

エネルギー使用を減らし、地球温暖化防止に資するため、建物自体の熱負荷を低減するとともに、省エネ型の空調設備を導入している。また、電力需給バランス改善への要請に応え、ピークカットのための設備を導入しICT利用のエネルギーマネジメントも行っている。主な対策は以下の通り。

- ・遮熱高断熱複層ガラスの採用
- ・小庇（ひさし）と木調ルーバーによる日射制御
- ・階段室を利用した自然換気
- ・屋上緑化を含む樹木の保全と浸透性舗装による夏季の気温上昇抑制
- ・ヒートチューブによる地中熱利用
- ・室外機周りに霧状のミストを散布し冷却効果を向上
- ・氷蓄熱による空調のピークカット
- ・エコキュートによる高効率給湯
- ・各室の電力使用量を把握するシステムの導入
- ・空調設備を事務室等で集中管理

■バリアフリーに関する取り組み

人々が集う生涯学習拠点であ



り、以下のようにバリアフリー対策に万全を期している。

- ・視認性の良い誘導ブロック・自動発光する誘導ブロックを敷設
- ・車椅子同士でもすれ違える歩道幅
- ・視覚障害者同士のすれ違いに配慮した誘導紙（びょう）を敷設
- ・全室の出入口をオールフラット化
- ・室名サインに点字表示を設置
- ・各階階段手すりに点字表示を設置
- ・エレベーターに音声案内を設置
- ・車椅子の通行を配慮した扉幅
- ・各階に多目的トイレを設置（1階はオストメイト対応）
- ・理療科ゾーンの扉には点字表示

■セキュリティ対策

不特定多数が訪れる場所であり、以下のようにセキュリティに配慮している。

- ・防犯合わせ複層ガラスを採用
- ・メインエントランスは時間外にオートロックを採用
- ・館内及び敷地各所に防犯カメラを設置
- ・ICカードキーによる全館入退室管理システムを導入
- ・防犯性が高く使いやすいリバーシブルディンプルキーを採用
- ・トイレに緊急呼出しボタンを設置

